

事業活動報告 事業所名 かめおか作業所

1、2021年度 事業所方針						
<p>Quality of life～「はたらく」を通して、ゆたかに「いきる」～</p> <p>① 「はたらく」や「活動」を通して、一人ひとり主人公になれる支援に取り組みます。</p> <p>② メンバーの当たり前の「生活」を支えます。</p> <p>③ 「地域の作業所」を意識し、安心安全な作業所を目指します。</p> <p>④ それぞれの思いや願いに寄り添い、それを共感できる職員集団を目指します。</p> <p>ビジョン2年目として、土台を確かなものにする1年にします。</p>						
2、利用者・職員状況						
<p>○利用者：定員 55名 現員 58名（男性 32名 女性 26名）</p> <p>○職員：18名 正規 7名 非正規 11名（所長 1名 主任 1名 支援員 12名 厨房職員 4名）</p> <p>○作業グループ</p> <table> <tr> <td>食品加工グループ：味付け味噌、ピクルス、食料品梱包等下請け</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>縫製クラフトグループ：ふきん、バッグ、ペンケースなど</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>下請けグループ：お菓子の袋詰め、DM封入発送、箱折り、農作業など</td> <td>38名</td> </tr> </table>	食品加工グループ：味付け味噌、ピクルス、食料品梱包等下請け	7名	縫製クラフトグループ：ふきん、バッグ、ペンケースなど	13名	下請けグループ：お菓子の袋詰め、DM封入発送、箱折り、農作業など	38名
食品加工グループ：味付け味噌、ピクルス、食料品梱包等下請け	7名					
縫製クラフトグループ：ふきん、バッグ、ペンケースなど	13名					
下請けグループ：お菓子の袋詰め、DM封入発送、箱折り、農作業など	38名					
3、実践内容と成果						
<p>今年度も新型コロナウイルスへの対応に追われる一年でした。特に新年度早々の4月には事業所内で感染が分かり、長い人では3週間の事業所閉所となりました。その後は感染防止を一層強化し、1月にも感染がありましたが、大きな混乱もなく乗り越えられたように思います。引き続き、感染防止のとりくみを行っていきます。</p> <p>仕事面ではコロナ禍の中、昨年度同様販売や置き売りの休止、下請け作業の減少など影響も見られましたが、収入面だけで見ると増加しています。これは単価の大きい下請け作業を夏から秋に受注することができたこと、どのグループも新たな仕事づくりを行い、全体の底上げにつながったことが挙げられます。今年度4名の新メンバーを迎えたことで給料など支出の部分が増加し、年間収支の赤字が続いていましたが、3月に回復することができ、黒字で終わることができました。来年度は黒字化だけでなく、給料やボーナスが少しでもアップできるように努めていきたいと思ひます。</p> <p>コロナ禍により地域の行事への参加や交流が減る中、今年度は仕事を通じて地域とのつながりをより一層感じられた一年だったように思います。昨年度から取り組んできた亀岡市曾我部町の皆さんとの玉ねぎを使った商品開発では12月に商品が完成し、店頭に並べることができました。それ以降は6月の収穫まで一旦休止している状況ですが、市役所からもPRしたいと声をかけていただいたり、休止後も注文の問い合わせがあり、来年度はしっかりと販路も広げていきたいと考えています。また、商品開発だけでなく、玉ねぎの出荷準備も手伝う中で、普段作業所内での仕事が苦手なメンバーが積極的に作業に向かう姿がありました。改めて地域の中で必要とされることがやりがいや喜びにつながっていくことを実感しています。来年度もビジョンに掲げている“地域の課題と一緒に取り組む”事業の具体化を更に進めていきます。</p> <p>自治会活動では、全員でとりくむことを意識しながら、自分の得意な場面で力が発揮できるようにと役職をなくしました。残念ながら行事自体の中止が多かったですが、ボーナスとりくみや所長交渉</p>						

などでは一人ひとりの積極的な姿が見られました。来年度は役員の三選禁止など多くのメンバーが自治会活動に参加できるような工夫を行っていきたいと思います。

健康面ではこれまで以上に本人や家族の高齢化、疾病等により生活が「待ったなし」の状態から対応を余儀なくされる事例が増えてきました。来るべき時が来ても混乱することなくこれまでの生活を継続できる、また新たな生活に移行できるよう、メンバーだけでなく家庭との連携を深めながら必要な働きかけを模索しています。

4、次年度以降への課題とそれに対する取り組むべき実践内容

- ・来年度は新たに2名の新メンバー（丹波支援学校卒業生）を迎え59名の集団となります。ここ数年の課題である作業空間やグループ編成などを改めて見直しながら、誰もが安心して働き過ごせる環境、空間づくりを引き続き進めます。
- ・メンバーの工賃アップがめざせるように作業会計や工賃規定の見直しを行っていきます。
- ・働くことだけでなく生活面も含めたその人を丸ごと捉えられるように関係機関とも連携をさらに深めます。
- ・様々な背景を持つメンバー一人ひとりとしっかり丁寧に向き合える職員集団となるように常に学ぶことを意識しながらスキルアップをめざします。